

とおの就職ガイダンスで森林・林業を紹介

遠野支署に勤務している外柳です。

令和4年5月18日に遠野市主催で、「とおの就職ガイダンス」が開催されました。

本説明会は、遠野市内の事業所への就職を希望する新規学卒者及び一般求職者を対象としており、各事業所から求人内容の説明等を行い、今後の就職活動への参考とする目的としております。

説明は写真のように各ブースで行われ、1コマ25分間の説明を2回行いました。



ことを説明しました。

今年度は、遠野支署から支署長と外柳が参加しました。

支署長からは、国家公務員採用試験や林野庁の組織、林業が循環型社会の形成やSDGsに貢献することなど森林・林業全般について説明しました。

私からは、現場の最前線で働く森林官は、森林資源の調査や国有林の境界保全、各事業の監督業務を担っており、森林管理署では、森林官からの報告を踏まえた事業の発注業務等を行っている

今回参加してくれた学生の方からは、

- ・「転勤は、どれくらいの頻度で行われるのですか。」
- ・「収穫調査は木を1本ずつ測っていてとても大変そうに見えます。」

などの質問やご意見等をいただき、こちらからは、公務員の転勤の頻度や、現在はドローン等の技術を用いて森林をなるべく効率的に管理するよう業務を行っていることを説明しました。

森林での仕事といえば、山に登って暑い中つらい仕事ばかりを思い浮かべることだと思います。しかし、現在は急峻な地形以外であれば高性能林業機械を用いて作業員に負担をかけずに仕事が出来ます。林業というもののイメージを変えるきっかけになったのではないかと思います。

今回の就職ガイダンスに来てくれた方には、森林管理署の仕事というものを少しでも感じて頂けたかと思いますが、ぜひ森林に興味を持って頂けたら幸いです。

また、森林管理署と聞いても何の仕事をしているか分からない方が多くいらっしゃるかと思いますので、そういう方々とお話出来る機会があれば、ぜひ森林・林業の仕事や魅力を知って頂けるようお伝えしていきたいと思います。